

グローバル・コーポレート・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジあり) 2015-11 (限定追加型)

愛称：グローバルメジャーズ15-11

償還運用報告書(全体版)

第8期(償還日2019年10月15日)

作成対象期間(2019年4月16日～2019年10月15日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、約款の規定にもとづき償還決算を行い、償還価額が決定いたしました。

ここに設定日から償還までの運用経過をご報告いたしますとともに、ご愛顧に対し厚く御礼申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/内外/資産複合
信託期間	2015年11月30日から2019年10月15日までです。
運用方針	世界各国の企業(金融機関を含みます。)が発行する期限付劣後債、永久劣後債、優先証券(以下「ハイブリッド証券」といいます。)および日本を含む先進国の公社債等を主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。投資するハイブリッド証券は、取得時においてBB格相当以上の格付(格付がない場合は同等の信用度を有すると判断されるものを含みます。)を有するものとし、ポートフォリオ構築完了時点における組入銘柄の平均格付はBBB格相当以上とすることを基本とします。外貨建て資産については、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。
主な投資対象	世界各国の企業(金融機関を含みます。)が発行するハイブリッド証券および日本を含む先進国の公社債等を主要投資対象とします。
主な投資制限	外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。 株式への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等から、利子・配当等収益等の水準および基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104

〈受付時間〉営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近5期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	基準 価 額			債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率	純 資 産 総 額
		税 込 分 配	み 金 騰 落	期 中 騰 落 率					
	円 銭		円	%	%	%		百万円	
4期(2017年10月16日)	10,448		70	2.0	98.2	—		5,957	
5期(2018年4月16日)	10,356		70	△0.2	94.4	—		5,175	
6期(2018年10月15日)	10,255		70	△0.3	71.6	—		4,540	
7期(2019年4月15日)	10,175		70	△0.1	63.4	—		3,789	
(償還時)	(償還価額)								
8期(2019年10月15日)	10,121.38		—	△0.5	—	—		3,599	

*基準価額の騰落率は分配金込み。

*債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

*当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を設定しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

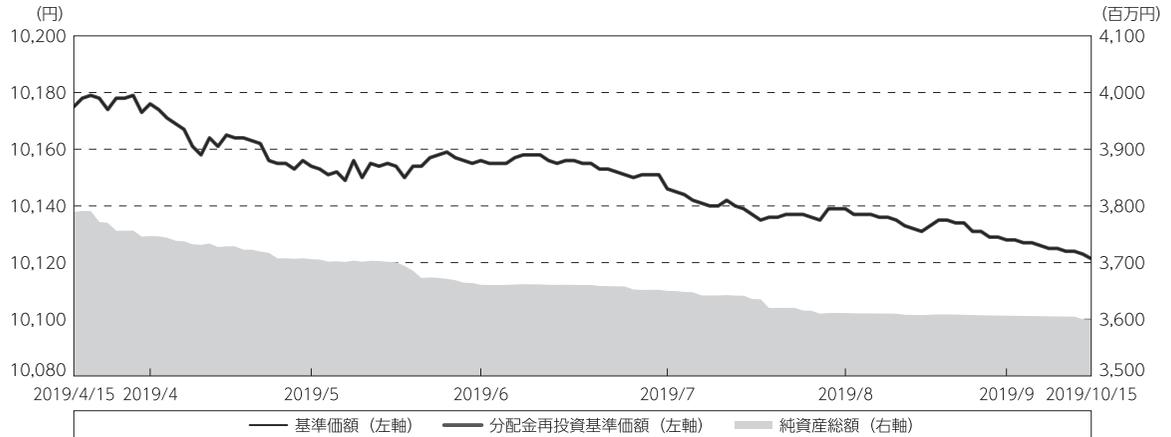
年 月 日	基 準	基 準 価 額		債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率
		騰 落	率				
(期 首)	円 銭		%	%	%		%
2019年4月15日	10,175		—	63.4	—		—
4月末	10,176		0.0	62.7	—		—
5月末	10,154		△0.2	36.8	—		—
6月末	10,156		△0.2	34.3	—		—
7月末	10,146		△0.3	26.9	—		—
8月末	10,139		△0.4	26.4	—		—
9月末	10,128		△0.5	12.4	—		—
(償還時)	(償還価額)						
2019年10月15日	10,121.38		△0.5	—	—		—

*騰落率は期首比です。

*債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期首： 10,175円

期末(償還日)：10,121円38銭 (既払分配金(税込み)：-円)

騰落率： △ 0.5% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2019年4月15日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

* 基準価額は0.53%の下落

基準価額は、期首の10,175円から期末10,121.38円となりました。

(上昇要因)

債券を保有していたことによるインカムゲイン(利子収入)

(下落要因)

保有債券の価格下落に伴うキャピタルロス

○投資環境

米国市場では金利は低下しました。期首から2019年8月末にかけては、米中貿易摩擦における両国間の対立激化を背景に、世界経済の景気減速への懸念が高まったことで金利は低下基調で推移しました。9月以降は、米国と中国が10月にも通商協議を再開させることで合意したことや、9月のFOMC（米連邦公開市場委員会）で今後の緩和を巡る委員内の意見の相違が明らかになり、金利は一旦上昇したものの、欧州の金利低下につれたことなどでその後低下するなど不安定な動きとなりました。

欧州市場でも金利は低下しました。期首から2019年8月末にかけては、ユーロ圏の製造業の景況感の弱さやイタリアでの政局混乱や英国のEU（欧州連合）離脱問題など、政治的不透明感が強まったことで金利は低下基調で推移しました。9月以降は、英国で議会下院が合意なきEU離脱を阻止する法案を可決したことや米中貿易摩擦を巡る先行き不透明感が後退したことで金利は一旦上昇した後、欧州の景気減速懸念を受け低下に転じるなど、不安定な動きとなりました。

欧米クレジット市場では、スプレッド（国債との利回り格差）は概ね横ばい圏で推移しました。期首から2019年5月末にかけては、米中貿易摩擦懸念に加え英国のEU離脱に関する不透明感が広がったことからスプレッドは拡大しました。その後7月末にかけてFRB（米連邦準備制度理事会）やECB（欧州中央銀行）の緩和的な金融政策スタンスがリスク資産価格を下支えたこと等を背景にスプレッドは縮小したものの、8月に入ると米中貿易摩擦を巡る懸念や、イタリアの政治的不透明感などを背景にスプレッドは拡大し、その後は概ね横ばい圏で推移しました。

ハイブリッド債市場は欧米クレジット市場と概ね同様の動きとなったものの、スプレッドは期を通じて縮小しました。

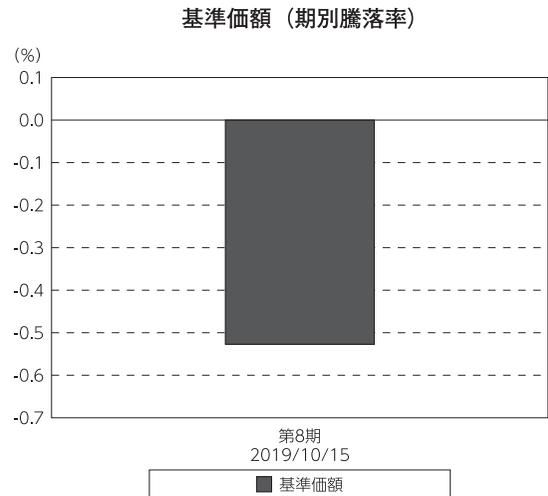
○当ファンドのポートフォリオ

世界各国の企業が発行するハイブリッド証券および日本を含む先進国の公社債等を主要投資対象とし、ポートフォリオの構築にあたっては、原則としてハイブリッド証券の中から信用力、利回り水準、発行総額、流動性等を考慮し、投資対象銘柄を選定しました。外貨建資産については、為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図りました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を設定しておりません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



◎分配金

償還のため分配は行いませんでした。

◎設定来の運用経過

＜設定来の基準価額の推移＞



○基準価額の主な変動要因

基準価額は、設定時10,000円から償還時10,121.38円となりました。設定来お支払いした分配金は1万口当たり490円となりました。

（上昇要因）

債券を保有していたことによるインカムゲイン（利子収入）

（下落要因）

保有債券の価格下落に伴うキャピタルロス
為替取引によるコスト（金利差相当分の費用）

○ 1 万口当たりの費用明細

（2019年4月16日～2019年10月15日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 70	% 0.687	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(33)	(0.330)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(33)	(0.330)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(3)	(0.027)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用	0	0.005	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(0)	(0.003)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	70	0.692	
期中の平均基準価額は、10,149円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

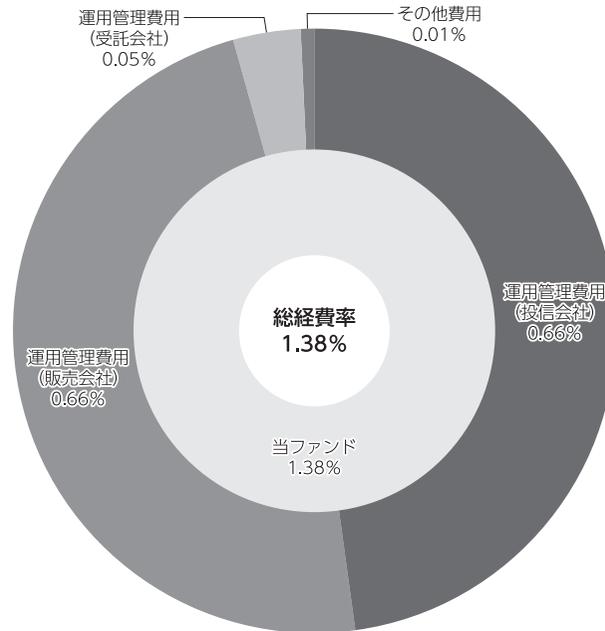
* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.38%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2019年4月16日～2019年10月15日）

公社債

			買付額	売付額
外	アメリカ	社債券（投資法人債券を含む）	千米ドル —	千米ドル 7,110
	イギリス	社債券（投資法人債券を含む）	千英ポンド —	千英ポンド —
国	ユーロ		千ユーロ	千ユーロ
	ドイツ	社債券（投資法人債券を含む）	—	1,940
	フランス	社債券（投資法人債券を含む）	—	151
	スウェーデン	社債券（投資法人債券を含む）	—	(6,943)
				1,848

*金額は受け渡し代金。（経過利子分は含まれておりません。）

*単位未満は切り捨て。

*（ ）内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

*社債券（投資法人債券を含む）には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

（2019年4月16日～2019年10月15日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2019年10月15日現在）

2019年10月15日現在、有価証券等の組入れはございません。

○投資信託財産の構成

（2019年10月15日現在）

項 目	債 還 時	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 3,628,786	% 100.0
投資信託財産総額	3,628,786	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

○資産、負債、元本及び償還価額の状況（2019年10月15日現在）

項 目	償 還 時	円
(A) 資産	3,628,786,117	
コール・ローン等	3,628,786,117	
(B) 負債	29,232,965	
未払解約金	4,244,440	
未払信託報酬	24,927,170	
未払利息	1,580	
その他未払費用	59,775	
(C) 純資産総額(A-B)	3,599,553,152	
元本	3,556,385,059	
償還差益金	43,168,093	
(D) 受益権総口数	3,556,385,059口	
1万口当たり償還価額(C/D)	10,121円38銭	

(注) 期首元本額は3,724,464,345円、期中追加設定元本額は0円、期中一部解約元本額は168,079,286円、1口当たり純資産額は1.012138円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額5,514,632円。

○損益の状況（2019年4月16日～2019年10月15日）

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	31,968,836	
受取利息	31,863,497	
その他収益金	1,170,704	
支払利息	△ 1,065,365	
(B) 有価証券売買損益	△ 26,559,867	
売買益	129,216,614	
売買損	△155,776,481	
(C) 信託報酬等	△ 25,099,857	
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 19,690,888	
(E) 前期繰越損益金	72,080,155	
(F) 追加信託差損益金	△ 9,221,174	
(配当等相当額)	(1,689,089)	
(売買損益相当額)	(△ 10,910,263)	
償還差益金(D+E+F)	43,168,093	

*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2015年11月30日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2019年10月15日		資 産 総 額	3,628,786,117円
区 分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負 債 総 額	29,232,965円
受益権口数	5,483,531,034口	3,556,385,059口	△1,927,145,975口	純 資 産 総 額	3,599,553,152円
元 本 額	5,483,531,034円	3,556,385,059円	△1,927,145,975円	受 益 権 口 数	3,556,385,059口
				1万口当たり償還金	10,121円38銭
毎計算期末の状況					
計 算 期	元 本 額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金	
				金 額	分 配 率
第1期	8,204,735,861円	8,154,523,829円	9,939円	70円	0.7%
第2期	8,002,597,188	8,169,588,957	10,209	70	0.7
第3期	6,825,297,771	7,041,315,226	10,316	70	0.7
第4期	5,702,259,748	5,957,866,639	10,448	70	0.7
第5期	4,997,720,257	5,175,760,786	10,356	70	0.7
第6期	4,427,555,327	4,540,407,007	10,255	70	0.7
第7期	3,724,464,345	3,789,626,012	10,175	70	0.7

○償還金のお知らせ

1 万口当たり償還金（税込み）	10,121円38銭
-----------------	------------

○お知らせ

該当事項はございません。